

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

令和5年9月12日

団体名 Y a i Y a i こども夏祭り実行委員会

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	新型コロナウイルス感染症の分類も2類から5類に移行し、いよいよアフターコロナの時代の幕開けとなった。このコロナ禍、子ども達は行動規制により、夏のイベントを十分に体験できていなかった。そこで、子ども達や地域の皆さんの笑顔を取り戻し、楽しい思い出を作ってもらうために、夏祭りを開催する。
事業の名称	Y a i Y a i こども夏祭り
事業費 （市補助金）	425,544円 (200,000円)
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	会場設営費、場内使用の金券印刷代、消耗品費、出演者謝礼等
事業実施期日	令和5年8月11日（金・祝）
事業実施場所	旧口上林小学校グラウンド及び体育館
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	模擬店及び各種イベントを実施。 ・模擬店 たこフライ、唐揚げ、フランクフルト、かき氷、飲みもの、ポン菓子、綿菓子、フライドポテト、スーパーボールすくい ・イベント 宝探し、盆踊り、山家太鼓演舞、花火、フリーマーケット 来場者数 約400人
補助金の効果(成果) （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）	当日には、想定以上のお客様にお越しいただくことができました。ご参加いただいた皆さんからは、「大きなやぐらが設置されていて、本格的な夏祭りの雰囲気を楽しむことができました。来年も実施してほしい。ひと夏の思い出になった。」などのお声をいただくことができ、当初の目的であった、子ども達や地域の皆さんの笑顔を取り戻すことができました。補助金を活用できたおかげで、大きな成果を上げることができました。

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和5年9月12日

団体名 Y a i Y a i こども夏祭り実行委員会

（単位 円）

	区 分	予算額	収入済額	明 細
	収 入 の 部	市補助金	200,000	200,000
自己資金		218,000	225,544	
合 計		418,000	425,544	
	区 分	予算額	支出済額	明 細
	支 出 の 部	会場使用料	7,000	3,250
会場設営費		280,000	280,000	やぐら設置委託料
燃料費		8,000	13,147	発電機用ガソリン
印刷費		30,000	33,960	チラシ等印刷費
保険料		18,000	16,570	イベント保険
出演者謝礼		40,000	20,000	20,000円×1団体
消耗品費		35,000	58,617	色上質紙、ラミネート フィルム等 8,426円 合板 13,079円 花火 22,174円 (対象外)キッチン用 品、景品等 14,938円
合 計		418,000	425,544	(対象経費 410,606円)
差 引	0	0		